

# 平成22年3月期 決算説明会

安藤建設株式会社

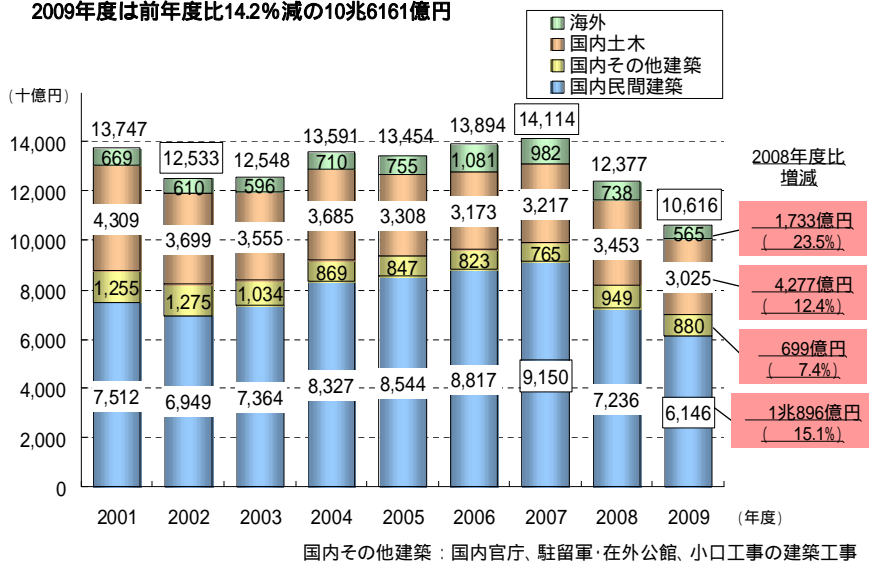
2010年5月26日

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本書面の作成時点に入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を含んでいます。そのため、今後の当社を取り巻く経済環境・事業環境等の変化により、実際の業績等は大きく異なる可能性があります。

## 1. 平成22年3月期 決算概要

## 建設市場の動き (建設大手50社受注額推移)

2009年度は前年度比14.2%減の10兆6161億円



## 決算総括

### 建設受注高

市場環境悪化に苦戦。中間時予想未達も、前期比増を確保。

### 完成工事高・総利益

完成工事高減少だが、  
利益率改善により完成工事総利益はほぼ中間時予想どおり。  
期末手持工事高(繰越工事)が前期比228億円増は一定の成果。

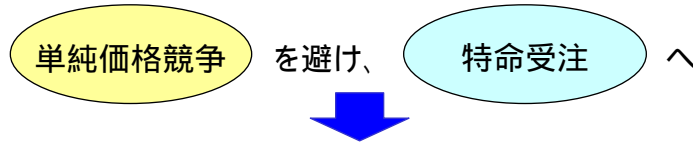
< 当社個別業績 >

(単位: 百万円)

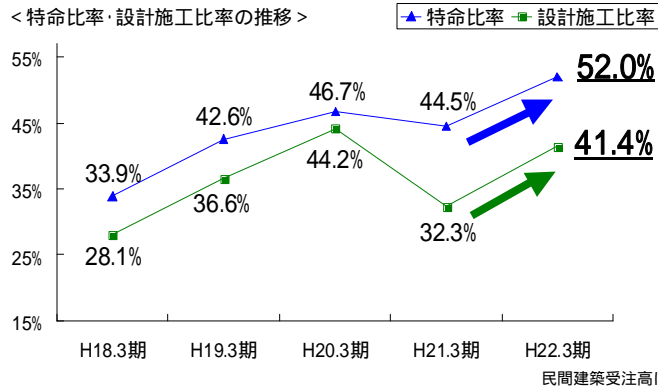
	H21.3期	H22.3期		
	実績	中間時予想	実績	前期比増減
建設受注高	166,325	180,000	170,253	+ 3,928
完成工事高	209,266	160,000	147,414	61,852
完成工事総利益	12,034	10,460	10,304	1,730
完成工事総利益率(建築)	5.8 %	6.7 %	7.3 %	+ 1.5 p
完成工事総利益率(土木)	3.7 %	4.4 %	2.5 %	1.2 p
期末手持工事高	133,506	- - -	156,345	+ 22,838

## 平成22年3月期 受注への取り組み

特命比率、設計・施工比率がともにUP



< 特命比率・設計施工比率の推移 >



## 平成22年3月期 建設受注高(個別)

(単位: 百万円)

		H21.3期	H22.3期	増減
		実績	実績	
建 築	国内官公庁	27,691	23,207	4,484
	国内民間	130,806	136,104	+ 5,298
	海 外	420	122	297
	計	158,919	159,434	+ 515
土 木	国内官公庁	4,598	9,096	+ 4,497
	国内民間	2,903	709	2,194
	海 外	96	1,012	+ 1,109
	計	7,405	10,818	+ 3,412
合 計	国内官公庁	32,290	32,303	+ 12
	国内民間	133,710	136,814	+ 3,104
	海 外	324	1,135	+ 811
	計	166,325	170,253	+ 3,928

・建築は民間増も官庁減でほぼ前期並み  
 ・土木は官庁JV受注が貢献し、増加  
 ・全体では中間期予想1800億に届かなかったものの、前期比39億円の増加に

## 平成22年3月期 建築工事種類別受注高(個別)

(単位:百万円)

	H21.3期 実績	H22.3期 実績	増減
事務所	23,713 ( 14.9%)	10,467 ( 6.6%)	13,245
宿泊	659 ( 0.4%)	2,069 ( 1.3%)	+ 1,410
店舗	12,222 ( 7.7%)	17,776 ( 11.1%)	+ 5,554
工場	20,275 ( 12.7%)	20,213 ( 12.7%)	62
倉庫	8,523 ( 5.4%)	5,332 ( 3.3%)	3,191
娯楽	4,146 ( 2.6%)	800 ( 0.5%)	3,346
住宅	45,241 ( 28.5%)	45,781 ( 28.7%)	+ 539
教育研究文化	13,779 ( 8.7%)	22,325 ( 14.0%)	+ 8,546
医療福祉	16,304 ( 10.3%)	27,533 ( 17.3%)	+ 11,229
その他	14,051 ( 8.8%)	7,134 ( 4.5%)	6,917
建築計	158,919 (100.0%)	159,434 (100.0%)	+ 516
うちストック分野	36,705 ( 23.1%)	43,537 ( 27.3%)	+ 6,831
合計	166,325	170,253	+ 3,928

・ADV2011の注力分野である医療・シルバー分野(医療福祉)が増加

・国内民間設備投資状況にもかかわらず、産業施設分野(工場・倉庫・店舗)も前期並みを確保

・ストック市場分野は大型建替等により、大幅増

・住宅には上記大型建替を含み、前期並み

## 平成22年3月期 業績概要(P/L)(連結)

(単位:百万円)

	H21.3期 実績	H22.3期		
		中間時 予想	実績	前期比 増減
売上高	226,398	178,000	159,725	66,673
完成工事高	221,383	161,500	149,094	72,289
不動産事業売上高	5,014	16,500	10,630	+ 5,616
売上総利益	14,290	11,800	12,026	2,264
完成工事総利益	12,971	10,700	10,926	2,045
不動産事業総利益	1,319	1,100	1,099	220
販売費及び一般管理費	10,032	9,300	9,382	650
営業利益	4,258	2,500	2,644	1,614
経常利益	3,161	1,300	1,706	1,455
当期純利益	622	200	646	+ 24

・手持工事の減少及び進捗遅延、当期受注・当期完成工事高の減少により、完成工事高が減少

・完成工事総利益率の大幅改善も、完成工事総利益は減少

・不動産事業総利益は微減

・販管費は徹底的な削減を実施

## 平成22年3月期 業績概要 (B/S) (連結)

(単位:百万円)

	H21.3期 実績	H22.3期 実績	増減
流動資産	125,170	83,297	41,873
固定資産	43,778	49,870	+ 6,092
資産合計	168,949	133,168	35,781
流動負債	117,271	81,934	35,337
固定負債	26,535	25,102	1,433
負債合計	143,806	107,037	36,769
純資産	25,143	26,130	+ 987
負債純資産合計	168,949	133,168	35,781
自己資本比率	14.8 %	19.4 %	+ 4.6 p
有利子負債	47,724	44,700	3,024
D/Eレシオ	1.90倍	1.71倍	0.19 p

・手持工事の減少と、前期に厚くした手元流動性の水準を戻したことから、流動資産が大きく減少

・310・2号特定目的会社の連結組み入れ等により、固定資産が増加

・その他有価証券評価差額金の増加等により、純資産が増加

・自己資本比率が大きく上昇

・有利子負債は単体で60億円減少も、新連結子会社の借入等により、連結では30億円の減少に留まる

## 平成22年3月期 業績概要 (C/F) (連結)

(単位:百万円)

	H21.3期 実績	H22.3期 実績	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,333	374	+ 2,707
投資活動によるキャッシュ・フロー	10,554	3,006	13,560
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,367	6,009	11,376
現金及び現金同等物の期末残高	26,896	18,355	8,541

・310・2号特定目的会社の優先出資引き受けにより、投資CFは30億円の支出超過

・有利子負債の圧縮等により、財務CFは60億円の支出超過

・前期に厚くした手元流動性を通常の水準に戻したことなどから、現金等の期末残高は減少

## 2. 平成23年3月期 業績予想

### 中期経営計画 **ADV2011**

(平成24年3月期)目標達成見通し

### 平成23年3月期の環境について(1)

#### 建設市場動向

足元では厳しい状況

民間設備投資回復の遅れ  
公共投資予算縮減



少し明るさも見える

製造業で動き出始める  
デベロッパー案件が増加傾向  
PFIで当社プレゼンス向上  
海外では設備投資の回復顕著

## 平成23年3月期 業績予想(個別・受注高)

## 受注戦略

## ADV2011で掲げる「総合力」の強化と発揮

民間建築・・・注力3分野を中心とした取り組み強化、  
住宅・大型物件による受注の下支え

官公庁建築・・・総合評価方式・PFIへの取り組み強化

土木・・・総合評価方式への対応強化による中央官庁発注工事発注工事  
・コスト競争力の向上による自治体発注工事での受注確保

## &lt; 建設工事受注高予想(個別) &gt; (単位:百万円)

	H22.3期 実績	H23.3期 通期予想	前期比増減
建築	159,434	160,000	+ 566
土木	10,818	10,000	818
計	170,253	170,000	253

## 平成23年3月期 業績予想(連結)

(単位:百万円)

	H22.3期 実績	H23.3期 見込	増減
売上高	159,725	172,000	+ 12,275
完成工事高	149,094	162,000	+ 12,906
不動産事業売上高	10,630	10,000	630
売上総利益	12,026	11,900	126
完成工事総利益	10,926	10,300	626
完成工事総利益率	7.3 %	6.4 %	0.9 p
不動産事業総利益	1,099	1,600	+ 501
販売費及び一般管理費	9,382	9,200	182
営業利益	2,644	2,700	+ 56
経常利益	1,706	1,500	206
当期純利益	646	300	346
有利子負債	44,700	37,000	7,700

・追加工事、当期受注・当期  
完成工事比率の改善により、  
完成工事高は増加

・物価下げ止まりにより、原  
材料価格の一層の下落は期  
待できず

・不動産事業の利益改善、販  
管費の削減により、営業利  
益は前期並みを予想

**ADV2011**(平成24年3月期) 目標達成見通し

平成23年3月期に一定量の受注が確保できれば  
中期経営計画(経常利益40億円)達成は視野に

現在の手持ち工事のうち、平成24年3月期以降完成の  
繰越工事高は、以前の受注高レベル(2200億円)と変わ  
らない水準まで積み上がっている。

利益率は計画想定どおりに改善。

**総合力で受注・利益の確保を目指す**

**配当金・配当利回り(個別)**

	H22.3期	H23.3期
第2四半期末配当金	- - -	- - -
期末配当金	5 円(*)	未定(0 ~ 5 円)
年間合計	5 円(*)	未定(0 ~ 5 円)
1株当たり当期純利益	7.81 円	3.63 円
期末株価	132 円	
配当利回り	3.79 %	

(\*)2010年6月29日開催予定の第93回定時株主総会に付議

平成2年3月期以降の期末配当金と1株当たり当期純利益の推移

	H2.3 ~ H6.3期	H7.3 ~ H10.3期	H11.3期	H12.3期	H13.3 ~ H22.3期
期末配当金	7.5 ~ 10 円	7 円	5 円	7 円	5 円
1株当たり当期純利益	24.38 ~ 48.44 円	7.70 ~ 13.28 円	143.41 円	8.11 円	27.84 ~ 23.24 円

H2.3 ~ H6.3期の1株当たり当期純利益は単独ベース



お客様の要求を超えるプラス  $\alpha$  を。

ANDX 安藤建設株式会社



参考：平成22年3月期 業績概要(P/L)(個別)

(単位：百万円)

	H21.3期 実績	H22.3期			H23.3期 通期見込
		中間時予想	実績	前期比増減	
売上高	211,812	168,000	150,677	61,135	163,000
完成工事高	209,266	160,000	147,414	61,852	156,000
不動産事業売上高	2,545	8,000	3,262	+ 717	7,000
売上総利益	12,739	10,660	10,536	2,203	10,500
完成工事総利益	12,034	10,460	10,304	1,730	9,800
完成工事総利益率	5.8 %	6.5 %	7.0 %	+ 1.2 p	6.3 %
不動産事業総利益	705	200	232	473	700
営業利益	3,368	2,060	1,965	1,403	2,100
経常利益	2,974	1,100	1,255	1,719	1,100
当期純利益	536	100	412	124	200

## 参考:平成22年3月期 業績概要(B/S)(個別)

(単位:百万円)

	H21.3期 実績	H22.3期 実績	
			増減
流動資産	118,897	78,895	40,398
固定資産	42,708	45,949	+ 3,637
資産合計	161,605	124,845	36,760
流動負債	112,763	79,869	32,894
固定負債	25,233	20,776	4,457
負債合計	137,996	100,646	37,350
純資産	23,609	24,199	+ 590
負債純資産合計	161,605	124,845	36,760
自己資本比率	14.6 %	19.4 %	+ 4.8 p
有利子負債	46,697	40,735	5,962
D/Eレシオ	1.98 倍	1.68 倍	0.30 p

## 参考:平成22年3月期 売上高(個別)

(単位:百万円)

		H21.3期 実績	H22.3期 実績		H23.3期 通期見込
				前期比	
建 築	国内官公庁	23,598	27,634	+ 4,036	- - -
	国内民間	176,081	110,545	65,535	- - -
	海 外	420	82	338	- - -
	計	200,100	138,262	61,838	146,000
土 木	国内官公庁	5,517	6,133	616	- - -
	国内民間	3,034	2,598	436	- - -
	海 外	613	419	194	- - -
	計	9,165	9,152	13	10,000
完成工事高	計	209,266	147,414	61,852	156,000
不動産売上		2,545	3,262	+ 717	7,000
	合 計	211,812	150,677	61,135	163,000

## 参考: 保有技術の紹介 (ストック市場分野関連)

### KG (Key Grid) 構法

(ピン接合形式の外付けフレームによる補強構法)

既存建物の梁柱接合部にピン装置 (KGピン) を取り付け、外付け鉄骨フレーム (KGフレーム) をこのピン装置にはめ合わせて外付けする耐震補強構法です。

\* (財) ベターリビングによる一般評定を取得

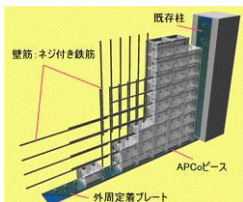


### APCo (アブコ) 工法

(プレキャストコンクリート増設耐震壁工法)

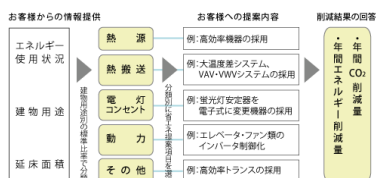
既存柱梁フレーム内に工場で作成したプレキャストコンクリートピース (APCoピース) を組み立て、簡易に増設耐震壁を築造する耐震補強工法です。

\* (財) 日本建築総合試験所による建築技術性能証明書を取得



### らくちんCO<sub>2</sub> (コッ) 名人 (簡易CO<sub>2</sub>排出量算出ツール)

建築物の企画設計段階で建築物のライフサイクルCO<sub>2</sub> (LCCO<sub>2</sub>) 排出量を簡易に算出できるツールです。



### らくちんECO (エコ) 名人 (省エネ簡易診断ツール)

詳細なデータがなくても既存建物に省エネ対策を実行した場合の効果を算出できる省エネ簡易診断ツールです。



## 参考: 企業概要

社名	安藤建設株式会社
本社所在地	東京都港区芝浦3丁目12番8号
創業	明治6年(1873年)
創立	大正7年(1918年)3月20日
資本金	89億8,552万円(平成22年3月末現在)
株式上場	東京証券取引所第一部: 証券コード1816
従業員数	1,697名(平成22年3月末現在)
拠点	国内8支店、関係会社4社、海外法人6社、プレハブ工場、技術研究所